

---

# 認知症におけるリスク管理



# 1 認知症ケアの現場に多い事故・トラブルとは

## 1) 認知症による事故・トラブルの具体例

転倒  
転落



平衡感覚が不安定  
身体のバランスを崩しやすい  
薬の副作用で「ふらつき」

歩行が困難になり、認知症が進行してしまうケースも

嚥下反射の衰えによる**誤嚥事故**などにも注意

# 認知症の進行



リスクを助長

認知症のBPSD等による不安  
焦り等により唐突な行動を起こしやすい

## ① 認知症の人によくある転倒ケース

### 体の向きを変えようとして転ぶ

後ろから急に呼ばれると、振り向きざまに転倒してしまうことがある

呼びかけるときは、そばに行って前に回り込んでから声をかけるようにする

右利きの人に左後ろから声を掛けると、振り返ろうとして足がもつれ、転倒の原因になることがある

### 動く引き戸に寄り掛かる

引き戸に寄り掛かって転倒する

居室の扉等、引き戸を採用していることが多い

### 靴が上手く履けない（かかとを踏んでしまい転倒）

紐靴は履かない、歩きやすい靴にする

中敷きを入れる



## 睡眠薬が効かず、寝ぼけてふらつく

睡眠導入剤を飲んでいる場合、薬が抜けきらず、呆然としたままトイレに行こうとして転倒  
ベッドから立ち上がった位置に椅子を置くことで、掴まる場所を確保するという方法もある

## 夜ベッドから降りようとして失敗

ベッドの高さが使用者に合っているか確認してみる  
座った状態で床に両足の裏がしっかり着いている状態がベスト  
介護用ベッドであればサイドレールを付け、掴まる場所を作っておく

とっさの行動

徘徊  
他者への暴力  
妄想  
幻覚  
錯覚

